

ぐるぐる回る大いなる意識、日の出から日の入りまで

グルマーイの誕生日のお祝いの報告

2018 年 6 月 24 日

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム

第 7 部

2018 年のグルマーイの誕生日のお祝いに参加した人たちより

シッダ・ヨーガの音楽のラサ

2016 年に、グルマーイの要請で、スワミたちは月に1回マントラの朗唱を —— 最初にバガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルで、そして今年 2018 年からはシュリー・ニーラーヤで —— 始めました。グルマーイはスワミたちに、彼らが 1990 年代初頭に教典の研究の一環としてブラーミンたちから学んだこれらのマントラを朗唱することを奨励していました。そうすることで、スワミたちはこの知識を彼ら自身とシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムに生かし続けることになります。毎月、スワミたちは特定の祝日、お祝い、または記念日を祝うために朗唱するマントラを選定します。

2018 年のグルマーイの誕生日に、シッダ・ヨーガ・スワミの 10 人 —— シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムに居住している人たち —— は、グルマーイにマントラをささげる準備をしてきました。彼らは「インドラシャ・サム」のマントラ —— 天と雨の神、インドラをたたえるマントラ —— を『サーマ・ヴェーダ』から選びました。

「インドラシャ・サム」のマントラは述べています。

インドラ神はすべての者の保護者です。

インドラ神はすべての者の支持者です。

彼は私たちの祈りを聞く善の擁護者です。

私は多くの者に崇拝される強大なインドラ神に祈ります。

どうか寛大なインドラよ、幸福と健康で私たちを祝福してください。

『サーマ・ヴェーダ』は、四つのヴェーダの3番目のヴェーダで、『リグ・ヴェーダ』と『ヤジュル・ヴェーダ』の後、『アタルヴァ・ヴェーダ』の前です。それはメロディーとチャンティングのヴェーダです。サンスクリット語の「サーマン」は、「曲」または「調子」を意味し、そこからこのヴェーダの名が派生しました。それはまた、「韻律の賛歌」または「称賛の歌」を意味します。『サーマ・ヴェーダ』はブラーミンたちによって歌われるべき知識をその詩節の中に含んでいます。

『サーマ・ヴェーダ』の 1549 の詩節の多くは、『リグ・ヴェーダ』から借りています。『サーマ・ヴェーダ』は実質的に、これらのマントラの音楽的な表現です。『サーマ・ヴェーダ』の詩節は、インドの古典音楽のラーガの基本を形作った音で歌われ続けてきました。それぞれのラーガは、関連する特質またはラサを持つ音の特定の配列です。

スワミたちが「インドラシャ・サム」を朗唱している時、私たちは過去の世界に連れ戻される体験をしました。彼らの音の共鳴は、これらのマントラがいかに古代からあり、原初のものであるかを強調していました。想像してみてください、何千もの賢者とブラーミンたちが創造のために、五つの要素 —— 地、水、火、空気、そしてエーテル —— が調和を保つために、そして人類の向上のために、これらの力強いマントラを歌ってきたのです。

ある参加者は後に回想しました。

スワミたちがマントラを朗唱した時、時を超越している感覚がありました。特に一つの音が長い間保たれると、私の意識が微妙に変わりました。私の中にマントラの共鳴を感じることができました。

スワミたちが、『サーマ・ヴェーダ』からの彼らのささげものを終えると、ミュージックアンサンブルの指揮者、クリシュナ・ハダッドが伴奏者たちへの合図の手を上げました。それは音の、継ぎ目のない流れでした。

伴奏者たちは、花輪のような一連のナーマサンキールタナの最初のチャンティングのメロディーを演奏し始めました。その音楽は私たちの心と魂を、あらゆる私たちの感覚を楽しませるものでした。ボーカルに加えて、絶妙な音がピアノ、バイオリン、ハーモニウム、ムリダング、シンバル、そしてタンバリンから調和して浮上し、ぐるぐる回りました。

最初のチャンティングは、「オーム・ナマー・シヴァーヤ」のブーパリー・ラーガでした。これはシャクティパートの伝授のマントラで、何十年の間シッダ・ヨーガの系譜のグルたちが新しい探究者たちに与えてきたものです。このマントラは世界中の人々の人生を変え、そしてグルたちは彼らの慈愛と寛大さから、多くの方法でそれを与えてきました。シャクティパート・インテンシヴやサツァングでグルマーイは、このマントラをチャンティングし、その神聖な音節について瞑想するよう人々を導きます。また、探究者はこのマントラをシッダ・ヨーガの道の紹介プログラムでも受け取ります。それは、シッダ・ヨーガ・アーシュラムやツアーの会場にあるグルの椅子の上に記されており、また、アーシュラムの他の部分にも——カードに書かれ、アートワークとして描かれるなど——自分自身とその世界における神聖さの存在を思い出させるものとして見つけることができます。

シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムの一人のスタッフメンバーが回想しました。

何年も前に、大学を終えてスタッフとして奉仕するためにアーシュラムに着いた時、アンナプールナー・ダイニングホールテーブルの上に、シッダ・ヨーガの引用文のカードがありました。その内の1枚に、「オーム・ナマー・シヴァーヤ」とありました。これを見て、私は目を見張りました。私は、マントラは単に瞑想とチャンティングの間に繰り返すだけのものではなく、あらゆる時のためのものだと気づきました。それは私が保持できる継続的な気づきであり、そして私が何をしているかに関係なく、呼吸に合わせてマントラの復唱をすることができるのです。

1970年代から、バーバとグルマールはダルシャンに初めて来る人々にマントラが印刷された小さなカードを与えたものでした。これらのカードはしばしばグルの写真、マントラの力についての教え、または瞑想の指導が印刷されていました。本当に多くの新しい探究者にとって、これらのマントラカードは正式にマントラを受け取る方法というだけではありませんでした。それらはまた聖なるお守りであり、そしてマントラの復唱というシッダ・ヨーガの修行の紹介であり、どこでも修行を支えられるような、持ち運びできる「自宅での手引き」でした。今日でも、多くの人たちは何年、何十年も自分のマントラカードを保管し、どこに行っても常に持っています。軍隊にいるシッダ・ヨーギの中には、マントラカードを心臓に近いポケットに入れて携帯している人もいます。こうすることで、彼らは国のために職務を遂行する時、祝福と保護を受け取ることができるのです。

私たちは、「オーム・ナマー・シヴァーヤ」を、ムリダングの脈動の中にマントラの最後の音が吸収されるまでチャンティングしました。ドラム奏者が注意深く、指揮者の指示の下に、軽やかで生き生きとしたリズムを奏でました。シンバルの音が拍子を強め、そしてすぐに私たちはシヴァ神を称賛するもう一つの心を揺さぶるチャンティング、荘重なダルバーリー・ラーガの「ジャヤ・ジャヤ・シヴァ・シャンボー、マハーデーヴァ・シャンボー」に移りました。

グルマリーは、このチャンティングをグルデーヴ・シッダ・ピートウで 1998 年 2 月に、マハーシヴァトリーのお祝いのチャンティング・サブタのプルナフティ のために作曲しました。1週間後にグルマリーは、大きな会場での一連のサツァングのためにデリーを訪れました。何千人もの人々がグルマリーのダルシャンを持ち、サツァングに参加するために来ました。これら多くのサツァングとダルシャンの間に、ミュージックアンサンブルは新しいナーマサンキールタナ——「ジャヤ・ジャヤ・シヴァ・シャンボー」——をチャンティングし、人々はそれを心から愛しました。デリーのツアースタッフだったあるセーヴァイトは、グルマリーの訪問の期間を通して、人々が毎日サツァング会場へ行き来するバスの中でこのナーマサンキールタナをどのようにチャンティングしたかを今でも思い出します。彼らは声を限りに歌い、完全にこのチャンティングの力で陶醉していました。

私たちは確かにこの力を、グルマリーの誕生日に「ジャヤ・ジャヤ・シヴァ・シャンボー」をチャンティングした時に体験しました。そして、私たちはチャンティングというシッダ・ヨーガの修行を喜び、そのさまざまなラサに没頭し続けました。私たちは「オーム・ナモー・バガヴァター・ムクターナンダーヤ」を幸せを呼び起こすダニ・ラーガで、「カーリ・ドゥルゲー・ナモー・ナマー」をたくましく華やかなマーンドウ・ラーガで、「シュリー・クリシュナ、ニーラ・クリシュナ、バーラ・クリシュナ、ジェイ・ジェイ」を軽快で甘いティラング・ラーガで、そして最後に「オーム・ナモー・バガヴァター・ムクターナンダーヤ」を平和で深遠なブーパーリー・ラーガでチャンティングしました。

長年にわたり、グルマリーは神聖な名をチャンティングすることのラサを含む、多くのラサについての教えを与えてきました。今年、「サツァング」についてのメッセージの講話の中で、グルマリーは私たちに、「真理の甘美さ」という意味を持つサッテャラサという言葉を与えました。私たちがグルマリーのメッセージを実践し、私たち自身のサツァングを創造する時に喜びを感じるのは、この甘美さ、このネクターと霊薬なのです。

シッダ・ヨーガの修行のタパシャ——恩恵に満ちたサーダナー——は、サッテャラサをもたらすと、グルマールは教えます。もちろん、チャンティングはその完璧な例です。異なったナーマサンキールタナをチャンティングする時に体験する多くのラサ —— 例えば、献身、切望、愛、勇気、平和 —— は、すべてサッテャラサの現れです。それらはすべて真理から生じ、そして真理に戻るよう私たちを導きます。

一人の参加者が、6月24日のチャンティングについて話しました。

ちょうど、美しい花輪が異なった花々で構成される —— それぞれの花は異なる形、色、香り、そして質感を持ち、そしてそれらすべてで一つの完全な構成を形作る —— ように、一連のナーマサンキールタナは、一つのチャンティングとラーガから次へと完璧に移行しました。さまざまなメロディー、構成、楽器法、そして調子はすべて溶け合い、シッダ・ヨーガの音楽の美しいタペストリーを織り成しました。それは私たちを自身の心の中の空間に先導しました。

クリシュナ・ハダッドがナーマサンキールタナの花輪をまとめ上げるやり方は、彼の揺るぎなさを反映していました。彼はシッダ・ヨーガの音楽の原理を実践するために才能を磨いてきました。クリシュナは10代後半だった2001年に、「若い大人のためのプレモツツァヴァ音楽リトリート」に参加して、これらの原理を学びました。クリシュナはその時、大学で音楽を学び始めており、後に音楽を大学院レベルでも学び、音楽教育の博士号を取得しました。現在、クリシュナは中高校生に音楽を教え、また彼の音楽ディレクターおよび指揮者としての技術をささげるために、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムを定期的に訪問しています。

シッダ・ヨーガの音楽のラサに没頭した後に、私たちはジャズピアニストのケニー・ワーナーの演奏を聞くという特別な楽しみを得ました。前日の夜に、ケニーは、グルマールの誕生日のお祝いへの彼の貢献として「Light Up the Sky 空を照らす」という題名の作品をキーボードで

作曲しました。このことを知った時、私たちはこのような豊かで複雑な作品を一晩で作曲し、そしてすぐ次の日に演奏したことに驚きました —— そしてその完璧さとそれほどの信頼に！

私たちは、歌が展開されていく中で、ピアノの音に聞き入りました。それは私たちにとって目を開けた瞑想となりました。ケニーの熟達した音楽は、ジャズミュージシャンやジャズ愛好家の間で有名です。そして彼の音楽への不滅の情熱は、何百人もの音楽の生徒たちが音楽を学び、そして彼らが自らの力で偉大な音楽家になることを鼓舞してきました。音楽業界で名を成しているにもかかわらず、ケニーはグルマリーのために演奏することが彼の最大の喜びであることを何度も話してきました。彼はグルマリーへの奉仕として演奏する時、彼にとって音楽が最も意味を持つ瞬間だと言いました。2018 年のグルマリーの誕生日にグルマリーのために演奏するというケニーの願いの成就是、私たち皆にとってのご褒美でもありました。そのような瞬間に、グルマリーの誕生日のお祝いに参加することは、プラサードを次から次へと受け取っているようなものだと思うにはいられません！

ケニーの演奏に続いて、「ジョータ・セ・ジョータ・ジャガーオー」を歌うために私たちは立ち上がりました。5 人のプージャーリーがグルマリーの前に弓なりに並んで立ち、ささげ物で満たされたトレイを揺らし、アーラティーの火の踊る炎に輝きながら、グルマリーにアーラティーを行いました。アーラティーの各要素は、シッダ・ヨーガの道では特定の意味を持っています。炎は大いなる自己の光を表しています。それは私たちの中にある光とシュリー・グルの中にある光は一つであり、同じものであることを象徴しています。シュリー・グルの前でこの炎を振り動かすことで、私たちは私たちの中にこの神聖な光をともし彼女をたたえます。

シッダ・ヨーガの道に幼い頃から従っている16歳のプージャーリーは、後にアーラティーをささげた体験を話しました。彼はまた、この体験から学んだことをどのように次に進めていくかについても話しました。彼は言いました。

私がプージャーリーとしてセーヴァーをささげていたある時点に、グルマーイは私を見ました。彼女がそうした時に、私は小さな含み笑いを漏らすほどに喜びを感じました！この愛と喜びを他の人々と共有できるようにしたいです。仕事以上にそれを共有する良い方法はありません！ 私の夏の仕事はデパートですが、私が話し掛けるすべてのお客様にすてきな満面の笑みで接するようにします。私はどのようなやりとりをするかに関係なく、人々に愛を送りたいです。そしてそのようにして、シッダ・ヨーガの道の大使となることを実践したいと思います。

サツァングに参加すること —— そして、この 2018 年グルマーイの誕生日のサツァングに参加すること —— の効果は計り知れません。それは私たちがシュリー・ニーラーヤにいた時間、あるいはこの報告を読んだ時間をはるかに超えて広がります。サツァングにいることは、私たちの知識を拡張させ、私たちのビジョンを洗練させます。それは私たちが神から受け取った務めと人生という贈り物にどのように取り組むかを見るようにさせます。それは新たな活力でサーダナーを追究するという私たちの願いを強めます。それは私たちの注意と資源をどこに置くかの優先順位を改めて付け直すことによって、人生の恩恵の源に還元することを私たちに鼓舞します。それは私たちが知っていること、持っているものを —— 私たちの度量と能力に応じて、小さく、謙虚で、素晴らしい方法で —— 率先して共有することで、地球を、私たち自身を、そしてお互いを尊敬するように、私たちを奮い立たせます。

毎年 6 月に、サッドグナ・ヴァイバーヴァ、すなわちバースデー・ブリス(誕生日の至福)の美德 —— その年に育み実行するための 6 月 24 日の特別な美德を含む —— をグルマーイから受け取ることは、私たちの大きな幸運です。私たちがこれらの美德を育み、私たちの行動、考え、そしてふるまいの中で具体化する時、私たちは自分自身だけでなく私たちの周辺のすべての人、そして私たちが触れるすべてのものに肯定的な変化をもたらします。私たちは、「この世界をより良い楽園にするために」というグルマーイの指針に従っています。1993 年、グルマーイは初めに SYDA ファウンデーションのスタッフのために、その年の彼らの焦点としてこの指針

を与えました。そして彼女はそれ以来、世界中のセーヴァイト、シッダ・ヨーギ、新しい探究者たちのためにこの指針を与え続けています。

私たちが、グルの恩恵による私たち自身の変容や、恩恵によって形成された無数の人々の変容について熟考する時、感謝の気持ちが私たちの中に突然の大海の波のように湧き上がる時—— 私たちの自然な反応は還元したいと思うことです。

多くの人々が、シッダ・ヨーガの道に初めて引き寄せられ、そしてSYDAファウンデーションの仕事に貢献することに彼らを駆り立て続けるのは、過去と現在のシッダ・ヨーガのサツァングやシャクティパート・インテンシヴの体験であると話してきました。彼らは深遠な善意の奉仕に自分の努力や技術を提供することを望みます。この人生を変容させる仕事の一部になりたいと望みます。そうすることで、彼らはシッダ・ヨーガの遺産の創造と強化に貢献しています。

私たちは、グルマーイの誕生日のお祝いが終わりに近づいていると言っていますが、本当のところ、サツァングの効果が終わることは決してありません。サツァングの記憶は私たちと共にとどまります。サツァングの影響は広範囲に及びます。その利益は私たちの存在の繊維そのもののの中に、私たちの人生の織物そのもののの中に吸収されます。

このサツァングでは、私たちが作成したスケジュールの最後に達したと思ったちょうどその時に、グルマーイはミュージックアンサンブルに「ヘー・ムサフィール」というカウワリを歌う方法を知っているかと尋ねました。偉大な熱意をもって、ミュージックアンサンブルは言いました。「はい、グルマーイ！ できます！」—— クリシュナはそれを歌いながらアンサンブルを指揮し始めました。

「ヘー・ムサフィール」の音楽は、グルデーヴ・シッダ・ピートゥで 2001 年のメッセージの講話のためにグルマーイが作曲しました。その年のメッセージは、「あなたの心と一つになって、今この瞬間に臨みなさい。それを祝福された出来事にしなさい。」でした。

この美しいカウワリの歌詞は、ヒンディー語とウルドゥ語で書かれていて、次の通りです。

おお、旅人よ！ 気づきなさい、気づきなさい、あなたの師に気づきなさい！

心の狭い範囲だけで認めてはいけない。すべての庭にいる、
あらゆる手を通して行動し、すべての仲間の中にいる彼を認識しなさい。

色のないもののの中に、鮮やかな色の中に、そして驚くべきもののの中に、
彼を認識しなさい。

あなたの目的地に、抵抗や闘争の中に、そしてあなたが道すがら出会う
すべての人の中に、彼を認識しなさい。

すべての通りに、すべての仲間の中に、あなたが出会うすべての人の中に、
彼を認識しなさい。

すべての決意、すべての意図、そしてすべてのメロディーの中に、彼を認識しなさい。

すべての瞬間、すべての敬意、そしてすべてのしぐさの中に、彼を認識しなさい。

真の恋人なら、すべての色の中に、あなたの最愛の存在を認識しなさい。

インドでは、昼と夜のさまざまな部分をそれぞれカーラ —— カーラは「時間」を意味する語 —— と呼んでいます。これらのカーラの中にはムフルタと呼ばれるより限定した時間の区分があり、これらのカーラとムフルタの幾つかは特に幸先が良いものと見なされます。私たちはアルノーダヤ・カーラまたはブラフマ・ムフルタの間に朝のアーラティーで誕生日のお祝いを始めました。私たちは正午であるマデヤーナ・カーラまたはアビジトゥ・ムフルタに、ちょうどサツァングを持ちました。そして、サツァングが終わる前に、司会がお祝いは私たち参加者が作成したスケジュールを超えて継続されることを明らかにして、私たちを驚かせました。夕方、

サーヤン・カーラの中に、私たちはグルマールと共にバガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンブルで夕方のアーラティーを歌うのです。何と完璧なのでしょう！ 6月24日の誕生日のお祝いは、一日の三つの最も縁起の良い時間にまたがり、そしてその間、私たちはシッダ・ヨーガの実践に取り組みます。



© 2018 SYDA Foundation®. 著作権所有。

続く…